

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ

2022年5月1日

黒田 禎一郎

主 題：「古くて新しい命令です」

—ひとつのことば—

テキスト：第一ヨハネの手紙2章7～11節

はじめに

- ・ 前回、第一ヨハネの手紙を学んでから、早くも5週間経過しました。そこで、まず前回の復習から入ってみたいと思います。
- ・ 前回、私は「命令は重荷ではありません」（副題：神の愛）というテーマで、主の声を聞きました。私たちは生ける真の神を信じるものとして、どのように生きるべきか学びました。それはイエスが言われたように、岩の上に自分の家を建てる賢い人のように歩むことです。
- ・ 具体的にはどういうことでしょうか。みことばは次のように述べています。
2:5 しかし、だれでも神のことばを守っているなら、その人のうちには神の愛が確かに全うされているのです。それによって、自分が神のうちにいることが分かります。 Iヨハネ
- ・ この聖句から明らかなことは、次のことです
「神のことばを守る」⇒「神の愛が全うされる」⇒「自分が神のうちにいることが分かる」
- ・ したがって、神のみことばを守ることは大切です。キリストの十字架を信じた人は、内なる人が神の恵みによって成長し、神の幸いが現れる人と変えられていきます。それは神がなされるわざであり、まことに幸いな人生です。
- ・ その生活は決して重荷ではありません。なぜならイエス・キリストが十字架で全て背負ってくださったからです。その上、神の御霊である聖霊が助けてくださるからです。
- ・ クリスマン生活、それは命令に従う人生ではありません。
- ・ さて、今日のテキスト（第一ヨハネの手紙2章7～11節）を開いてください。重荷ではないクリスマン生活は、どのようなものであるか、著者ヨハネは述べています。
2:7 愛する者たち。私があなたがたに書いているのは、新しい命令ではなく、あなたがたが初めから持っていた古い命令です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いているみことばです。 Iヨハネ

- ・ここで、ヨハネは「古い命令」と「新しい命令」と述べています（命令とは別の言葉でいう「戒め」です）。では、古くて新しい命令とは、いったいどんな命令でしょうか。それが今日の説教テーマです。2点

大切なポイント

1. 新しい命令に生きる人

1) 古い命令

2:7 愛する者たち。私があなたがたに書いているのは、新しい命令ではなく、あなたがたが初めから持っていた古い命令です。その古い命令とは、あなたがたがすでに聞いているみことばです。

- ・ヨハネがここで述べている神の命令は、それは兄弟を愛しなさいという命令です。イスラエルの民は、そのことを古い昔から教えられ、知っていました。あなたは復讐してはならない。あなたの民の人々に恨みを抱いてはならない。あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい。わたしは【主】である。

レビ 19:18

- ・皆さん！ ヨハネは何か新奇なことを考え出して命令しているのではありません。「あなたが初めから持っていた」命令（戒め）と書いています。「初め」とは、神が人間を造られたその初めのことでしょう。
- ・兄弟愛は、創造神が人間の心に植え付けてくださった尊い戒めです。とくにイスラエルの民は、そのことをよく知っていたはずでした。
- ・ところが、ヨハネはこの古い命令を、新しい意味内容をもった命令として「新しい命令」と言いました。それはどういうことでしょうか？
⇒ イエス・キリストの十字架にあって成就した命令です
- ・イスラエルの民は古い命令（戒め）を知っていましたが、実践できませんでした。私たちの肉の性質が、それをさせないからです。他人を愛することは、たいへん難しいことです。それは肉であるからです。
- ・いかがでしょうか。 私たちも今まで自力で、努力して、他人を愛すべきと努めてきたことはないでしょうか。しかし神は愛することができない者に、イエス・キリストにあって、それを可能としてくださいました。
⇒ それが新しい命令（戒め）です。

新しい命令とは、イエス・キリストによって守る古い命令（戒め）のことです。

- ・ヨハネは次のように言いました。

2) 新しい命令は真理です

2:8 私は、それを新しい命令として、もう一度あなたがたに書いているので

す。それはイエスにおいて真理であり、あなたがたにおいても真理です。
闇が消え去り、まことの光がすでに輝いているからです。

① ヨハネは、新しい命令はイエスにおいて真理であり、私たちにとっても真理であると言いました。真理とは絶対的基準のことです。十字架におかかり下さったイエスは、すべてにおいて基準であり真理です。それは私たちにも真理（絶対的基準）です。そして、

② その基準の確かさは、まことの光（phos:フォス、光源からでる光）が輝いているからだと言います。

- ・光であるイエス・キリストが信じる者にお住みくださるとき、もはやどんな物も光をブロックすることはできません。あまりに強い光のため、闇は消え去り、光輝いているのです。なんとという幸いでしょうか。それが、ヨハネが述べた新しい命令（戒め）です。

{例 話}

- ・数年前でしたが、次のような証を聞きました。
彼は体が弱く、家庭環境もよくありませんでした。田舎で育ち、父親の仕事の関係で3度も転校しました。しかもへんぴな所へ何度も転校し、浪人して地方の大学に入りました。
- ・立派な親、立派な家で裕福な生活をしている人たちを見ると、気後れしました。「私なんかは何ができるだろうか」と敗北感に捕らわれ、心が沈んでしまいました。
- ・しかし、そんな自分がイエス・キリストを信じてからは、自分自身を見る目が変わりました。「私こそ神から愛され、宝のように思われている存在である」と、信仰で受け入れました。「私なんか」から「私こそ」への転換が起きました。それまでは、人生は運命によって決まると思い、自嘲していました。神の御計画であり、神のみ心を信じて人生を見るようになり、生きる価値を見出しました。
- ・すると彼は変わりました。若者たちで、自分のようにさまよっている人達に出会うと、何とかして助けてあげたいという思いになり、伝道師になりました。70歳を過ぎた今も、若者たちに神の愛を伝えるとき、心が弾みます。
- ・彼と一緒に聖書を学ぶ青年たちが、イエスに出会い180度人生が変わる経験を見ると、それまでの苦労や涙は無駄ではなかったと感じています。どんなに劣等感が強く、弱い者でも、神によって価値のある人生を生きることができる、と語っています。
- ・新しい命令に生きる人の証は、励ましを与えてくれます。ヨハネはさらに、新しい命令に生きる人は、兄弟愛に生きる人となると言いました。その人のうち

には、光 (phos) であるお方 (イエス・キリスト) がともにいてくださいます。

2. 兄弟愛に生きる人

2:9 光の中にいると言いながら自分の兄弟を憎んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるのです。

2:10 自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。

2:11 しかし、自分の兄弟を憎んでいる人は闇の中にいて、闇の中を歩み、自分がどこへ行くのかが分かりません。闇が目が見えなくしたからです。

1) チェック・ポイント

・さて、ここで私たちは自分自身を見てみましょう。

① これらの聖句は、新しい命令に生きる人の実生活を点検し、本質的状态を見つめるように促しています。当時も、ここに書かれたような兄弟を憎んでいた人がいたようでした。

・一方、「兄弟を憎んでいる」とは広い意味では冷たい心、無関心、軽蔑なども含まれるでしょう。そのような闇の中にいるならば、当然つまずきを覚えます、その姿は2章にあります。

2:11 しかし、自分の兄弟を憎んでいる人は闇の中にいて、闇の中を歩み、自分がどこへ行くのかが分かりません。闇が目が見えなくしたからです。

・考えてみれば、兄弟愛とは外に現れるものです。しかし、その外なる歩みは、内なる姿の現れです。9節のみことばは、その事実を教えています。

2:9 光の中にいると言いながら自分の兄弟を憎んでいる人は、今でもまだ闇の中にいるのです。

・ここでいう兄弟という言葉は、同じ神の家族であるクリスチャン (姉妹含む) を指しています。1ヨハネ5章

5:1 イエスがキリストであると信じる者はみな、神から生まれたのです。生んでくださった方を愛する者はみな、その方から生まれた者も愛します。

これがチェックポイント①です。

③ 兄弟愛はクリスチャン相互の間から始まり、その輪は次第に広がります。そして光の中にとどまります

2:10 自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。

そして光である神との交わりの中にあります。つまずくことはありません。

- ・しかし、皆さん。ヨハネの時代も、今の時代も、つまりくことはあります。そしてこれからもあるでしょう。なぜでしょうか？

聖書は⇒ 私たちが光とともにいないからだと言います。

私たちは互いに愛し合うこと、兄弟愛に生きることは大切です。

2) すべての命令の要約

5:14 律法全体は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という一つのことばで全うされるのです。 ガラテヤ

- ・律法全体とは、ここでの文脈では旧約聖書のみことばです。それは神の命令（戒め）です。それが、一つのことばで全うされると言います。すなわち、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」

- ・皆さん。イエス・キリストが十字架におかかりくださり、尊い御血を流してくださったのは、何のためであったでしょうか。イエスの御死を無駄にしてはいけません。

- ・イエスの死は、「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」という命令を全うするためでした。そのために神はもう一人の助け主である聖霊を与えてくださいました。ヨハネ14章16節

14:16 そしてわたしが父にお願いすると、父はもう一人の助け主をお与えくださり、その助け主がいつまでも、あなたがたとともにいるようにしてくださいます。

- ・まことのキリスト者とは、新しい命令（戒め）に生きる人のことです。それは兄弟姉妹を愛するという姿に表れてきます。そこには闇はありません。つまりくこともありません。ただ光の中にとどまる人です。
- ・そこで、肉を宿とする私たちには戦いがあります。しかし、その戦いに勝利できるのがキリスト者の特権です。
- ・イエス・キリストの教会は、そのような新しい命令（戒め）に従順である兄弟姉妹の共同体であるべきです。

{例 話}

- ・2014年の冬、米国のあるリゾートで体育館の屋根が崩壊しました。10名もの死者が出るという惨事が起こりました。どんなに華やかで、きれいに飾られた建物も、基礎工事がおろそかであるならば、屋根に積もった雪の重さに耐えられず、つぶれてしまいます。それが今回の事故の原因でした。
- ・教会も同じです。多様な集会、訓練プログラム、奉仕も必要ですが、根本的な基礎工事がしっかりさせなければなりません。重要な基礎工事の一つは、愛の柱をしっかりと立てることです。健全な教会という尺度は、「愛によってどれだけ一つとなっているかです。」キリストが私たちを愛してくださったように、

私たちも互いに愛し合うことです。イエスは言われました。

ヨハネ福音書 15 章

15:12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。

- キリストの教会は、キリストの愛によって保たれる共同体です。それは新しい命令（戒め）に生きる人です。私たちは肉で努力して戦うではありません。いいえ、キリストの愛のうちに、キリストとともに生きるものです。

ま と め

主 題：「古くて新しい命令です」

—ひとつのことば—

- 主は今朝も、私たちにお語りくださいました。
「古くて新しい命令」、それはキリスト・イエスにあって成就しました。だれでもキリストにある人は、その新しい命令（戒め）に生きるものです。
- 新しい命令に生きる人には、どのような特権があるでしょうか。
 1. 兄弟愛に生きる
 2. 光のなかに生きる

2:10 自分の兄弟を愛している人は光の中にとどまり、その人のうちにはつまずきがありません。

* God bless you!